

# 未来への軌跡

2010年8月16日

## 「優しさ」で心を満たす

8/11(水)に、水谷修先生の講演を聞いてきました。

講演は「僕らが未来の社会の為にできること」と題して行われ、水谷先生が「夜回り先生」として、多くの子どもたちと接して何を感じ、何を伝えたのかをお話になりました。

水谷先生は、横浜市の定時制高校に勤め、友人との話し合いがきっかけで「夜回り」がスタートしました。

時代が変わりゆく中で、「夜に眠らない子どもたち」が増えて、夜に自分の居場所を求める子どもたちが増えてきました。

先生自ら、生徒の居場所に入っていく、子どもたちの声に耳を傾けていくうちに、子どものほうから歩み寄ってきました。

人はなぜ苦しむのかというと、自分のことしか考えられず、自分だけが苦しんでいると考えてしまうので、他人を愛せなくなります。

家庭内において、仕事や夫婦間での悩みやトラブルが、何かを機に子どもにも伝わり、子どもの居場所を失くしてしまいます。

日本の中高生の7~8割は、家庭内において褒められるより、叱られることが多いので、自己評価の低い子どもたちが増えてきています。

そういった子どもたちが増えている原因は、社会全体が原因としてあり、大人が原因になっているのではないのでしょうか。

また、現代の子どもたちが夜に、インターネットや携帯電話を通じて、仮想現実にも身を置くことも子どもたちの心の拠り所になっている、夜に眠れなくなっている原因になっています。

PCや携帯電話は使い方を間違ったら、使っている人間を滅ぼします。

「人は誰かを幸せにするために生きる」「人は認められることで生きられる」

日ごろから子どもたちに、直接、美しい言葉や、優しい言葉を投げかけて、子どもたちの心を優しさで満たすことが必要だと学びました。